

1. MR数およびMR認定取得者数

1) MR数

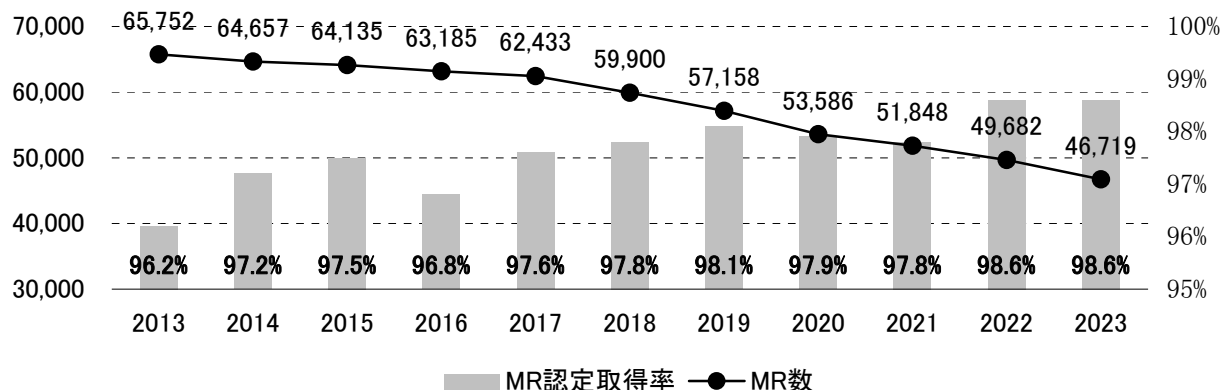
	2022年度	2023年度
MR数 (①と②の合計)	49,682 名	46,719 名
-1 認定証取得者	48,962 名	46,060 名
-2 認定証未取得者	720 名	659 名
認定証取得率	98.6%	98.6%
①通常、医療機関を訪問して活動するMR	49,270 名	46,212 名
①-1 認定証取得者	48,562 名	45,557 名
①-2 認定証未取得者	708 名	655 名
認定証取得率	98.6%	98.6%
②Webまたは電話でのみ活動するMR	412 名	507 名
②-1 認定証取得者	400 名	503 名
②-2 認定証未取得者	12 名	4 名
認定証取得率	97.1%	99.2%
③管理職	7,566 名	6,872 名
③-1 認定証取得者	7,339 名	6,705 名
③-2 認定証未取得者	227 名	167 名
認定証取得率	97.0%	97.6%
④ ①～③以外の認定証取得者	13,734 名	14,882 名
合計	70,982 名	68,473 名

昨年に比べMR数は、2,963名(6.0%)減、認定証未取得者で61名(8.5%)減であった。2022年版から調査に加えたWebまたは電話のみで活動するMRを配置する企業は40社を超え、人数は、95名(23.1%)増と増加傾向が続いている。MR雇用規模別では、すべてのセグメントでMR数が減少したが、特に1000名以上のセグメントで約11%と大きく減少した。

2) MR雇用規模別のMR数

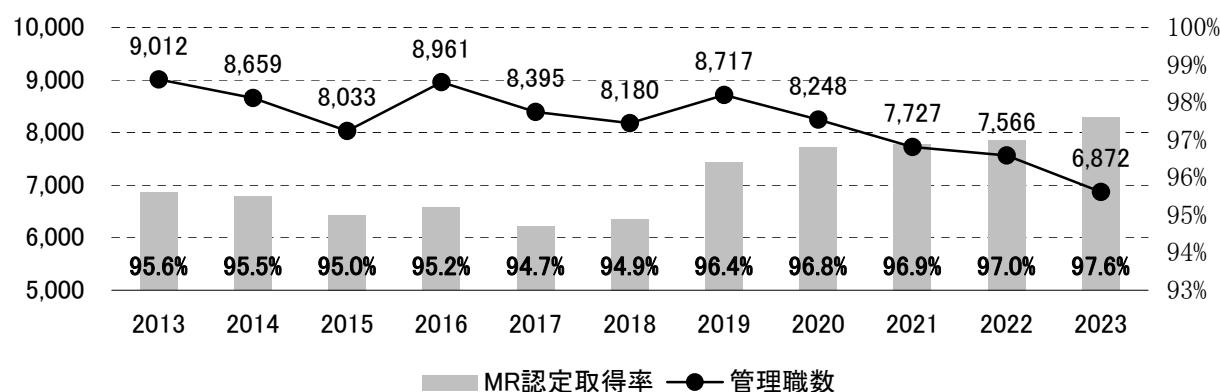
	企業数	MR数	構成比
全体	199	46,719	100.0%
1000名以上	11	14,594	31.2%
500～999名	26	17,894	38.3%
300～499名	12	4,978	10.7%
100～299名	34	5,671	12.1%
99名以下	116	3,582	7.7%

3) 年度別MR数と認定取得状況の推移



「2000年から2002年に5万人を超えたMR数が約20年ぶりに5万人レベルに戻った」と昨年報告書でコメントしたが、今回は2013年度以降続く減少傾向の中で最も減少数と減少率が大きかった2020年度に次いで2番目に大きい減少であった。近年、医療関係者からMRが医薬品情報の提供と収集を行うことに対して大いなる期待感をもった発言がみられるようになってきている。情報提供チャネルの多様化が歓迎される一方で、現場の事情を汲み取り、対話することで的確な情報提供をしてほしいとのニーズが垣間見える。このまま減少し続けることで、医療関係者からの期待に応えられるのか、安全性情報の収集の観点からも今後の動向が注目される。

4) 年度別管理職者数と認定取得状況の推移



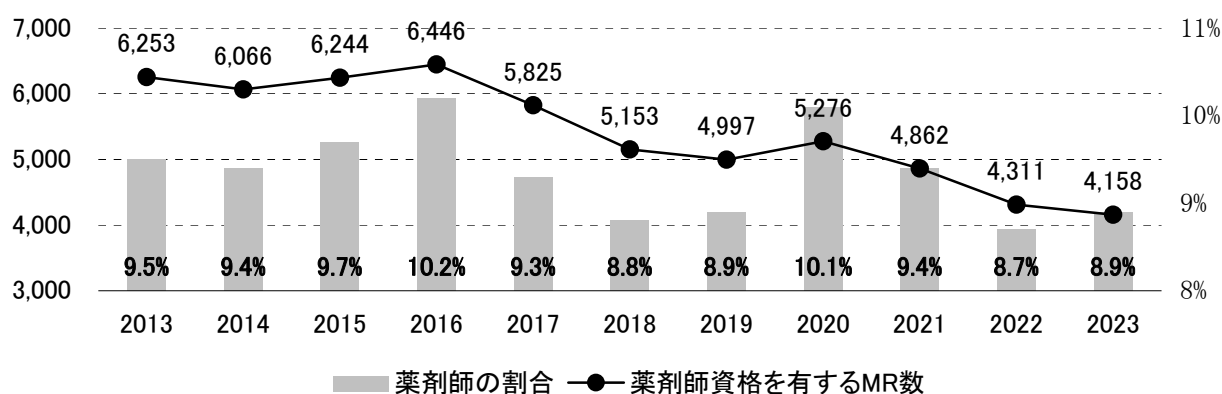
管理職において、MR認定証取得率で過去最高の97.6%となった。MRを監督指導する立場の管理職者がMR認定証を有するということは、医療関係者に信頼されるパートナーになるための基礎力(知識、技能、倫理観)の裏打ちがあることを意味し、MR認定証取得率の上昇は医療界から歓迎されることと推察される。

2. 有資格者別のMR数

2019年度から有資格者の区分を、「薬剤師」と「薬剤師以外の有資格者」とした。なお、薬剤師以外の有資格者とは、医師、歯科医師、看護師等である。

資格の区分		人数	有資格率
通常、医療機関を訪問して活動するMRのうち	薬剤師	4,098名	8.9%
	薬剤師以外の有資格者	87名	0.2%
Webまたは電話でのみ活動するMRのうち	薬剤師	60名	11.8%
	薬剤師以外の有資格者	1名	0.2%

1) 薬剤師資格を有するMRの推移



薬剤師資格を有するMRの人数は、MR数と同様に減少傾向が続き、過去最低の人数となったが、薬剤師資格保有率は、大きく変動しなかった。医療関係者のニーズは、「適切な情報を、正確に、簡潔に伝えてくれること」である。薬物治療の高度化、専門化、個別化が進む中で、薬学知識をベースに持つ人材の確保も重要ではないだろうか。今後の推移も引き続き、注視したい。

3. 企業属性別のMR数

1) MR数

	企業数	MR数	構成比	前年比
全体	199	46,719	100.0%	94.0%
内資系製薬企業	135	26,639	57.0%	93.9%
外資系製薬企業	50	15,707	33.6%	93.3%
CSO	13	4,353	9.3%	98.7%
卸売販売企業	1	20	0.0%	26.0%

2) MR数の推移

年度	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
全体	63,185	62,433	59,900	57,158	53,586	51,848	49,682	46,719
内資系製薬企業	36,844	36,721	35,455	33,463	31,501	30,322	28,365	26,639
外資系製薬企業	22,217	21,973	20,763	19,711	18,101	17,512	16,831	15,707
CSO	4,054	3,667	3,614	3,917	3,923	3,948	4,409	4,353
卸売販売企業	70	72	68	67	61	66	77	20

4. 加盟団体別MR数の構成比

集計項目	加盟団体			
	全体	製薬協	GE薬協	両協会以外
全体	42,346 100.0%	35,305 83.4%	2,567 6.1%	4,650 11.0%
1000名以上	13,108	13,108	0	0
500～999名	16,565	15,524	1,041	0
300～499名	3,626	3,215	0	411
100～299名	5,545	2,993	779	1,892
99名以下	3,502	465	747	2,347

前年との比較では、製薬協所属企業で2,526名(6.7%)減、GE薬協所属企業で448名(14.9%)減とともに減少した。昨年は両協会とも同程度の減少率だったが、今回はGE薬協所属企業で大きく減少させたことがわかった。

5. MR・管理職以外の認定証取得者が所属する部門〔複数回答〕

集計項目	企業数（有効回答）												
	合計	教育研修部門	マーケティング部門	メディアカルアフェアーズ部門	学術、学術情報	くすり相談部門	安全管理、品質保証、信頼保証、PV部門	流通・流通政策部門	コンプライアンス部門	薬事部門	研究・開発部門	人事・総務・経営管理部門・経理・財務	その他
全体	175 100%	118 67.4%	126 72.0%	84 48.0%	80 45.7%	50 28.6%	91 52.0%	100 57.1%	65 37.1%	45 25.7%	44 25.1%	84 48.0%	43 24.6%
1000名以上	11	11	10	9	8	3	10	10	10	7	6	7	2
500～999名	25	25	25	19	13	14	22	20	20	15	13	21	6
300～499名	12	10	10	7	6	5	9	9	7	5	4	9	5
100～299名	33	30	31	18	21	12	21	22	14	5	8	20	2
99名以下	94	42	50	31	32	16	29	39	14	13	13	27	28

【その他】を選択した43社のうち、41社から65部門の具体的な記載がありました。集計は以下のとおりです。

合計	65
医薬品事業以外	19
営業企画・推進・戦略	14
製造・生産部門	7
営業業務部門	4
営業部門	3
販売情報提供活動監督室	3
デジタル部門	3
広報部門	2
法務部門	2
他（選択肢と重複など）	8

年々MRまたはMRを管理監督する管理職以外のMR認定証保有者が増加しており、今回も微増し13,831名となった。この約14,000名の認定証保有者がどのような部門に配置され活躍しているのかを明らかにするために今回新設した設問である。マーケティングや営業企画などの商業部門を中心にメディアカルアフェアーズ部門、学術部門、安全・品質管理部門等、企業内の各部門で幅広く活躍されていることがわかった。